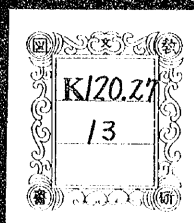


桃生郡教育会

桃生郡地誌

全
明
27



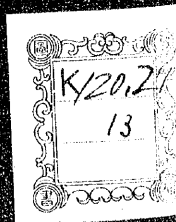
K120.27

13

桃生郡地誌

128

全



參考書目

一 各小學校提出ノ地誌材料

一 佐久間 義和 奥羽觀蹟聞老志

一 田邊 文封 內風土記

一 封內名蹟誌

一 四龍宮城縣史談

一 文部省高等小學歷史

一 國勢一班

一 縣治一班

一 郡役所河川調查書

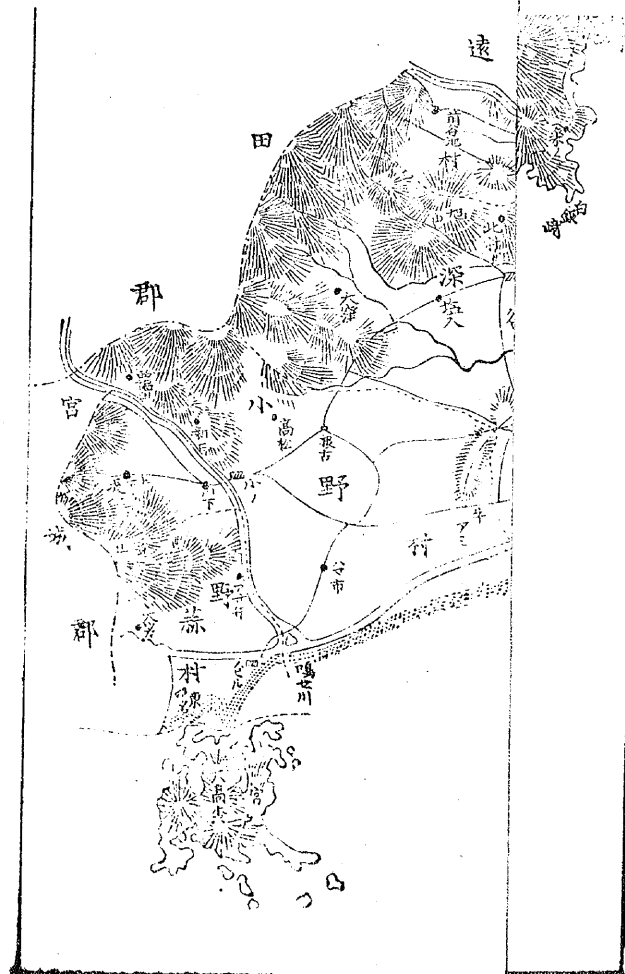
一 郡役農商工報告表

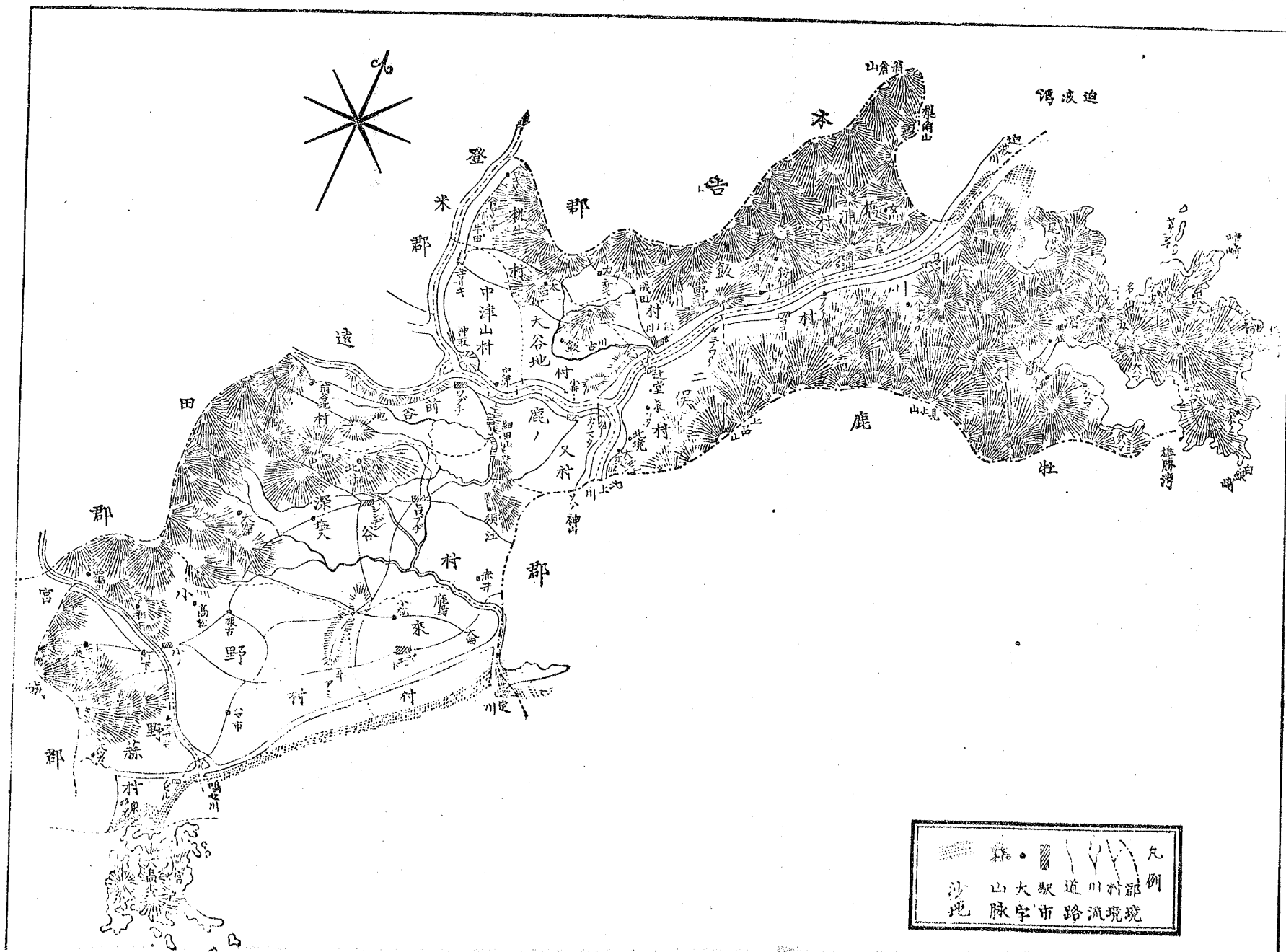
一 桃生郡學事書類

一 宮城師範學校 宮城縣地誌略

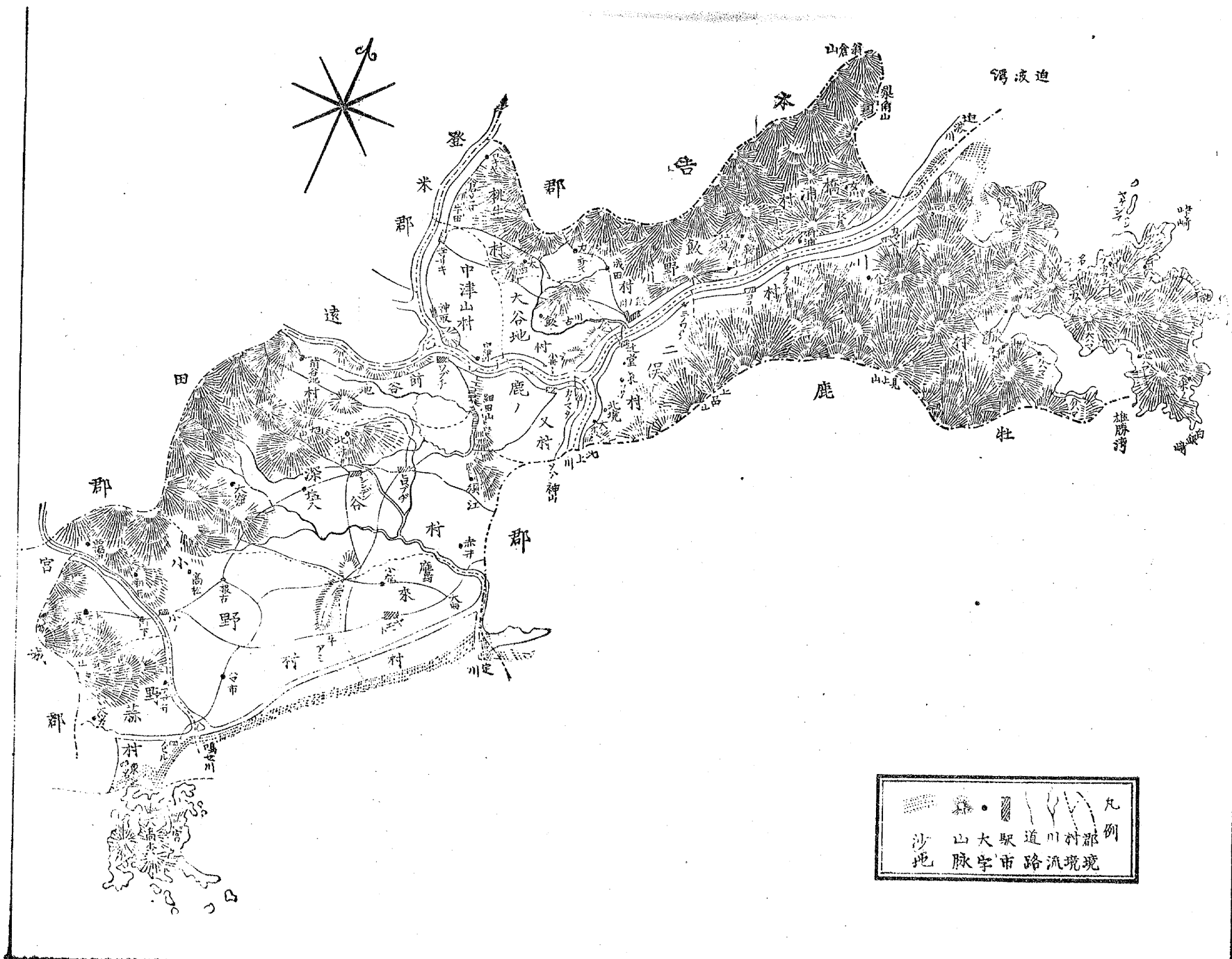
一 國分宮城縣地誌

一 本書氣候ノ部ニアル溫度ハ桃生郡役所ノ測候ニシテ
雨量ハ石卷測候所ノ調査ニ據ル





例
 郡 村 町 市 縣
 道 川 路 河 湖
 山 大 脈 宇
 沙 地



桃生郡地誌

位置
境界

廣袤

面積

地勢

村名

戸口

山脈

我桃生郡ハ、宮城縣ノ東北ニ位シ、東ハ太平洋ニ枕ミ、東南ハ
牡鹿郡ニ接シ、西ハ遠田郡及ヒ宮城郡ニ連リ、正南ハ海ニ面
シ、北ハ本吉登米二郡ニ界ス。東西十三里十八町、南北八里廿
六町面積十八方里七分四厘アリ。

地勢ハ、西南ヨリ斜ニ東北ニ延キ、北上川北ヨリ來リ、東南ニ
分流シテ郡中ヲ三分ス、其西ナルヲ深谷ト曰ヒ、其北ナルヲ
桃生北方ト呼ビ、其南ナルヲ桃生南方ト稱ス、本吉牡鹿兩郡
ノ境ハ、山岳綿亘シ、海岸ハ濱浦相連リ、岬灣出入セリ。

郡ヲ分ナテ、官戸、野蒜、小野、鷹來、深谷、鹿又、前谷地、中津山、桃生、
大谷地、飯野川、橋浦、二俣、大川、十五濱ノ十五個村トス。戸數七
千八百餘、人口五萬七千六百六十餘アリ。

山脈ハ、東北隅本吉郡ヨリ來リテ、更ニ東西ノ二脉ニ分レ、其

山

東方ニ延クモノハ、十五瀆村ニ至リテ南シ、大川、二俣ノ二村ニ亘リ、鮑石山、柴ノ澤山、見上山、上品山、等ノ諸山トナリテ、牡鹿郡トノ界ヲナス、西ノ一脉ハ、橋浦、飯野川、桃生、三村ニ延キ、重疊駢列シテ、北本吉郡ノ境域ヲ限レリ、旭山ハ郡ノ西部ニ屹立シ、其脉左右ニ延キ、一ハ前谷地村ノ諸峯トナリ、遠田郡ノ界ヲ限リ、一ハ南方ニ亘リテ、宮城郡トノ境界ヲナセリ。翁倉山ハ、橋浦村女川ノ北隅、本吉郡ノ境界ニ聳ユル高山ニシテ、其頂上ヲ梵天森ト云フ、直立四千二百尺、樹木繁茂セリ一祠アリ、翁倉神社ト云フ、之ヲ郡内ノ最高山トス。上品山ハ、二俣村ニ屬シ、牡鹿郡トノ界セル群山ノ中央ニ突起セリ、峰頭ニ一祠アリ、熊野社ト稱ス。

旭山ハ、深谷村北村ニ屬シ、廣淵、名緒兩沼ノ間ニ聳ユル西部ノ最高峯ニシテ、東南ハ河海、西北ハ遠田郡ノ田圃ヲ一望ス

ヘシ、頂上ニ一祠アリ、旭山神社ト稱ス。

蕎麥神山ハ、鹿又村ノ東南、牡鹿郡トノ界ニ特立シ、西南北ノ三面ハ、田野相連リ、東一面ハ、北上川ヲ隔テ、二俣村ノ金山ト相對峙セリ、南面ハ、牡鹿郡ニ屬シ、其山腹ニ、曾波神社ヲ奉祀ス

見上山ハ、大川村及ヒ十五瀆村ノ境ニ聳エタル高山ナリ。

石峯山ハ、十五瀆村ノ中央ニ屹立セル高山ニシテ、頂上ニ石上神社アリ、全村ノ形勢ヲ一望スヘシ。

郡内金鑛ヲ出スノ地ハ、桃生村太田、及ヒ山田ノ諸山ニシテ、

鷹來村小松、及ヒ前谷地村和淵ヨリ、褐炭ヲ産ス。

鑛泉

鑛山

郡内鑛泉ノ著ハル、モノナシ、近時稍ヤ人ニ知ラル、モノハ、須江、和淵、小舟越ノ三ヶ所トス、須江鑛泉ハ微温泉ニシテ、深谷村須江ニ在リ、石巻別街道ノ北傍ナル、疊石山ノ半腹ニ

涌出シ、和淵鑛泉ハ、前谷地村和淵ナル、猿喰峠ノ東南麓、溝渠中ヨリ涌出シ、小舟越鑛泉ハ大谷地村小舟越字上野、溝渠ノ傍ヨリ涌出セリ。

河流ノ大ナルモノヲ北上川トス、鳴瀬、江合ノ二川之ニ亞ク、又定川、運河ノ諸川アリ。

北上川ハ、源ヲ岩手縣陸中國御堂村ヨリ發シ、西北本吉郡麻崎村ト、登米郡豐里村トノ間ヨリ來リ、桃生村脇谷ヨリ南流シテ、前谷地村和淵ニ至リ、江合川ヲ合セテ、本郡ノ中央ヲ貫流東下シ、鹿又ニ至リテ二派トナリ、一ハ更ニ南下シテ牡鹿郡界ニ入ル、郡内流程五里三十一町アリ、一ハ東流シ、大川村長面ニ至リテ海ニ注ク、其流程四里廿七町アリ、舟楫ノ通スル所、大凡五十里ニシテ、岩手縣盛岡ニ達ス、水運ノ利實ニ三陸ニ冠タリ。(本流程七十六里九町)

北上川ノ、鹿又ヨリ石卷ニ達スル分流ハ、寛永年中ノ開鑿ニ係レリ、當時伊達政宗、石卷港ヲ開キ、水陸交通ノ便ヲ謀ランカ爲メ、家臣川村孫兵衛重吉ヲシテ此地ヲ開鑿セシメ、三年ニシテ成功セシモノナリト云フ、是ヲ以テ、鹿又ヨリ長面ニ至ルモノヲ本流トス、故ニ本川又追波川トモ稱ス。

鳴瀬川ハ、源ヲ加美郡漆澤ニ發シテ、志田郡ヲ貫流シ、遠田郡南郷村ト宮城郡松嶋村トノ間ヨリ來リ、小野驛ヲ經テ東南流シ、野蒜村ニ至リテ二派トナリ、一ハ野蒜灣ニ注キ、一ハ小野村濱市ニ至リ新鳴瀬川トナリテ、北上運河ニ會ス、郡内流程二里三十町、舟楫ノ便アリ。(本流程十八里四町)

江合川ハ、源ヲ玉造郡荒雄岳ヨリ發シ、大谷川ヲ合セ、志田、遠田兩郡ヲ貫キ、前谷地村ノ北境ヲ東流シテ、和淵ニ到リ、北上

運河

川ニ合ス、郡内流程一里五町アリ。(本流程三十里)
定川ハ、源ヲ旭山ノ溪間ヨリ發シ廣淵ヲ經テ、赤井ニ到リ、青
木川ヲ合セテ南流シ、大曲ニ至リテ海ニ入ル、流程二里五町
アリ。

北上運河ハ、牡鹿郡蛇田村石井開門ヨリ起リ、鷹來村大曲ニ
至リテ定川ヲ横斷シ、小野村濱市ニ至リ新鳴瀬川ヲ合セテ、

鳴瀬河口ニ通ス、流程三里三町アリ。
東名運河ハ、野蒜村鳴瀬川ヨリ起リ、龜岡、東名ヲ過キ、西北大
塚ニ向ヒ、松島灣ニ入ル、流程廿九町アリ。

北上及東名運河ハ、明治十一年、初メテ工ヲ起シ、同十七年
ニ至リテ成ル、其計畫タル、野蒜ニ一良港ヲ築キ、此運河
ヲ通シテ、北上川及ヒ松島灣ニ連絡シ、大ニ運輸ノ便ヲ謀
ラントスルニアリ、而シテ築港ハ、屢々風浪ノ阻礙スル所

瀑布

トナリ、惟運河ノ成功ヲ見ルノミ、然レトモ今日、此運河ニ
依リテ、其便益ヲ得ルコト、實ニ少カラス。
新鳴瀬川モ亦當時築港ノ關係ニヨリ、開鑿セシモノナリ。
郡内ニ在リテ、瀑布ト稱スヘキモノ、不動瀧、翁倉瀧等トス。
不動瀧ハ、鷹來村矢本ノ西北瀧山ニ在リ、高二丈一尺、濶三尺
餘アリ。

翁倉瀧ハ、橋浦村女川ノ北、翁倉山ニ在リ、水少シト雖、巖石ニ
激スル狀、頗ル奇觀ナリ。

沼池

郡内沼池ノ大ナルモノヲ廣淵沼トス、其他ハ山間ノ堤塘ニ
シテ、合戰谷沼、富士沼等ヲ稍大ナリトス。

廣淵沼ハ、本縣管内、第三ノ大沼ニシテ、深谷、前谷地兩村ノ境
ニアリ、周回二里十八町、東西廿町十間、南北廿五町四十間、此
沼ハ、灌溉ニ便スルノミナラス、其周圍ハ稻田トナシテ、收穫

灌漑

港灣
瀨浦

少カラス、又蝦菱等ヲ産ス。

合戦谷沼ハ、飯野川村成田ニ在リテ、同村西南部ノ灌漑用水ニ供ス、南北千間餘、東西百八十間餘アリ。

富士沼ハ、大川村針岡ニ在リテ、周回一里餘ナリ。

郡内各村ノ耕田ニ灌漑スルモノ、一ハ遠田郡鳴瀬川曰ケ箇ト稱スル地ヨリ、鷹來村ニ注キ、一ハ同郡名鰭沼ヨリ廣淵沼ニ注入シテ、深谷、前谷地、鹿又ニ及ボシ、一ハ本吉郡締切沼ヨリ桃生、中津山、大谷地、三村ニ引ク、其他ノ諸村ハ、概テ郡内溪流沼池ノ水ヲ用ウ。

南海瀨ハ、大曲瀨以西、大塚瀨ニ至ルマテ、平沙一帯遠ク相連リ、岬灣甚タ少ナシ、唯鳴瀬河口ノ南ニ不老山ノ突起セルト、東名ノ東端ニ鰐ヶ崎アルノミ、宮戸島ハ岬灣出入シ、殊ニ島ノ西北ハ、海水尤モ深ク、泊舟ニ便ナル所少カラス。

東海瀨ハ、大川村釜谷以東、一帯ノ地ヲ總稱シテ十五瀨ト云フ、漁鹽ノ利最モ多シ。

野蒜港ハ、野蒜村ノ東端、鳴瀬川ノ河口ニ在リ、灣ノ廣サ東西十町、南北八町ニシテ、灣口南ニ向フ、満潮ノ時ハ、其深サ四十尺ニ達スト雖、干潮ニハ僅ニ三尺ニ過キス、明治十一年、開築ノ後、泥沙自ラ河口ニ沈滞シ、今ハ僅ニ小舟ヲ泊スルヲ得ルノミ。

東名瀨ハ、野蒜村ノ西南ニ在リテ、製鹽ノ業甚タ盛ナリ。

宮戸瀨ハ、野蒜村ノ西南端ナル一大島ニシテ、松島名勝ニ屬セリ、大瀨、月瀨、里瀨、及ヒ室瀨ノ四瀨ニ分レ、海魚海藻及ヒ貝類ヲ産ス、殊ニ鮑ハ、其肉殻ニ倍シ、味ヒ美ナリ。

椿灣ハ、宮戸嶋室瀨ノ西北端ニアリ、其東灣ヲ潛ヶ浦トス、潛ヶ浦ハ、東西廿町、南北三十町ニシテ、其港門北ニ向ヒ、深サ

四十尺ニ達スト雖、干潮ニハ四尺ヨリ五尺ニ至ル、昔時ハ、東京以北ノ良港ト稱セシカ、現今ハ、船舶ノ出入極メテ稀ナリ。大曲濱ハ、郡ノ南方、定川ノ河口ニシテ、鷹來村ニ屬ス、南ハ大平洋ニ臨ミ、海岸一帯、白沙相連リテ松樹茂生シ、頗ル風光ニ富ミ、四時漁獲ノ利多シ。

雄勝灣ハ十五濱ニ在リ、海水東ヨリ曲入スルコト凡ソ二里半、其廣サ二十町ヨリ三十町ニ及フ、灣内水深クシテ、船艦ノ碇泊ニ便ナリ、赤崎、白銀崎ノ二岨、南北ニ相對シテ、灣口ヲナス、灣ノ盡ル所ヲ雄勝トス、此灣内ヲ南浦ト稱ス。

名振、船越兩灣ハ、雄勝灣ノ北ニ當レル一小灣ニシテ、水淺ク泊舟ニ便ナラズト雖、漁獵ノ利多ク、灣内ニハ大小ノ嶋嶼散布シテ、遙カニ本吉郡ト相對シ、風景殊ニ佳ナリ、之ヲ北浦ト稱ス。

嶋嶼

長面、尾ノ崎ノ二濱ハ、長面灣ノ兩岸ニ沿ヒ、製塩ノ業盛ナリ。郡内嶋嶼ノ著ハル、モノハ、宮戸島ニシテ、其他ハ、十五濱ノ附近及ヒ野蒜灣中ノ小嶋嶼トス。

宮戸嶋ハ、郡内第一ノ大嶋ニシテ、野蒜村ノ西南海上ニ在リ、周回六里、東南ハ太平洋ニ臨ミ、西北ハ松嶋浦ニ接ス、島ノ中央地勢最も高キ所ヲ大高森ト名ク、戸數百五十餘、人口一千六十餘アリ。

八景島及ヒ經島ハ、十五濱村名振灣中ニ在リ、八景島ヨリ、蛇體狀ノ石ヲ出ス、之ヲ蛇体石ト稱セリ。

郡内勝地ノ著ハル、モノハ、十五濱及ヒ野蒜宮戸沿海ノ地ヲ以テ多シトス、其他翁倉山上ノ眺望、旭山登臨ノ景色等枚舉ニ暇アラス。

不老山ハ、野蒜村ノ西南太平洋ニ向テ突出シ、頂上ヨリ松島

勝地

ノ勝景ヲ一望スヘシ、麓下ハ斷崖絶壁、怒濤岩ヲ瞞ム、登臨ノ佳境トス。

長瀨ハ、野蒜村鰯ヶ崎ト、長山崎トノ間ニシテ、松島灣ノ東北岸ニ沿ヒ、白砂青松相映シ、眺望頗ル佳ナリ。

大高森ハ、宮戸島ノ中央ニ突起シ、山勢稍高キヲ以テ、松島及ヒ近海ノ勝景皆登臨ノ双眸中ニ入ル。

白銀崎ハ、十五瀨村大須崎ノ南ニ在リ、奇巖林立、青松茂生シ、白波ト相映シ、風景最モ佳ナリ、岬頭ニ一祠アリ、白銀神社ト云フ。

潮華石ハ、大川村尾ノ崎ノ北方、海中ニ在リ、潮水ヲ噴クコト煙霧ノ如ク轟然トシテ聲アリ。

郡内舊跡極メテ多シト雖、古來有名ノモノハ、桃生城趾、合戦崎、高道墓、小野城趾、三分一所城趾、新城館趾、谷本城趾、鞍懸島、

舊跡

袖ノ渡、笈入ノ柳等トス。

桃生城趾ハ、桃生村ノ北境永井ニ在リ、郷人之ヲ茶臼山ト稱フ、山上三級ノ階段アリ、北上ノ河流山下ヲ遶リ、丘陵東南ニ連ル、史ニ云フ、淳仁帝、天平寶字二年九月、勅シテ陸奥國桃生城、出羽國雄勝城ヲ造ラシムト、蓋シ此地ナランカ。

合戦崎ハ、桃生村ニ在リ、郷人今檉崎ト稱フ、源義家、安倍貞任ト接戦ノ地ナリト云フ。

高道墓ハ、桃生村山田ニ在リ、郷人山田ノ碑ト稱シ、或ハ貞觀石ト號ス、相傳フ、坂上大宿禰高道ノ墓ナリト、高道ハ田村麻呂ノ後裔ナリ、文德帝天安二年、陸奥介トナリテ、久シク東奥ニ在リ、貞觀五年、夷賊蜂起スルニ當リ、高道之ヲ討テ、遂ニ王事ニ斃ルト云フ、後人碑ヲ建ツ、碑面ニ高道墓ノ三字アリ、左傍ニ貞觀五年五月ノ文字ヲ記ス、筆跡高妙、遒勁ナルモ、當時

何人ノ手ニ成リシヤ、其事跡詳ナラス。

小野城趾ハ、小野驛ノ後ニ在リ、鎌倉權五郎景政ノ曾孫、長江太郎義景ノ居館ナリ、文治年中源賴朝、深谷ノ莊ヲ義景ニ賜フ、其後數世相繼キ、播磨守勝景入道月鑑ニ至リ、天正年中罪ヲ伊達政宗ニ得テ、名取郡秋保ニ誅セラルト云フ。

三分一所ノ城趾ハ、對蒜村淺井ニ在リ、是即テ三分一所家景ノ居館ナリ、家景ハ乃テ深谷義景ノ末裔月鑑ノ弟ナリ、是ヨリ先キ月鑑小野城ニ在リ、兄弟各深谷ノ莊ヲ三分シテ之ヲ領ス、其城渾テ三區、其一ハ淺井、其二ハ大手、其三ハ上岡トス、是ニ於テカ姓三分一所ヲ冒セリト云フ。

新城館趾ハ、深谷村北村ニ在リ、坂上田村麻呂、東征ノ時營陣ノ地ナリト云フ、寺アリ、觀禮山高福寺ト號ス。

谷本城趾ハ、應來村矢本瀧山ニ在リ、谷本筑前守景重入道露

印ノ居館タリ、景重ハ月鑑ノ弟家景ノ兄ナリ。

鞍懸嶋ハ、飯野川村ノ東境、馬鞍ニ在ル野外ノ一高丘ニシテ、其高二丈餘、源義家、東征ノ日、鞍ヲ解キテ樹下ニ憩ヒシ處ナリト云フ。

袖ノ渡ハ、往昔、橋浦村涙川ノ津渡ナリシカ、現今ハ川ト共ニ田圃トナリ、空シク古渡ノ名ヲ存スルノミ。

笈入柳ハ、前谷地村、和淵ノ東南、北上河畔ニ在リ、相傳フ、往昔源義經東行ノ時、偶柳枝ヲ笈中ニ挿シ來リテ此地ニ植エ、以テ和淵ノ神ニ祈願セリト、郷人之テ笈入柳ト曰フ、此地元文年中、新田ヲ開墾シ、今存スルモノ、僅カニ兩三株ニ過キサルノミ。

郡内社寺ノ數多シト雖、今、最古ノ創建ナリト傳フルモノヲ舉ク。

飯野山神社ハ、大谷地村飯野ニ在リ。

日高見神社ハ、桃生村太田ニ在リ、相傳フ後冷泉帝、治暦年中源義家、東征ノキ建ル所ナリト。

二朕神社ハ、二俣村大森ニ在リ。

石上神社ハ、十五瀨村大瀨ニ在リ。

小銳神社ハ、大川村福地ニアリ、又加茂神社トモ稱ス。

以上五社ハ、桃生六座ノ内ニシテ、延喜式内ノ神社ナリト傳フルモ、未タ詳ナラス。

和淵神社ハ、前谷地村和淵ノ北端ナル、明神山頭ニ在リ、延暦年中坂上田村麻呂、東征ノ時、貴船神祠ヲ、同村本宮山ニ建ツ、後々天喜四年中、源義家、安倍貞任ヲ討スルノ日、祭田一萬刈ヲ寄附ス、文治年中葛西伯耆前司、今ノ地ニ遷祀スト云フ。

箱泉寺ハ、深谷村北村ニ在リ、深谷山箱泉寺一心院ト號ス、平

城帝大同年中、慈覺大師ノ開ク所ナリ、寺院ノ東南ニ幽泉アリ、板ヲ以テ之ヲ圍ム、因リテ箱泉ノ名アリ、寺西ニ高丘アリ、一畫ヲ引クカ如シ、故ニ一字岡ト云ヒ、其下ニ池アリ、屈曲偃蹇、形心字ニ類スルヲ以テ心ノ字池ト云フ、寺南又池アリ、阜池ト稱ス、亦字形ニ似タルヲ以テナリ。

功岳寺ハ、小野驛ノ北端ニ在リ、舊時ハ深谷村大窪ニ在リテ、無爲山隆泉寺ト號ス、是即々鎌倉權五郎景政ノ建ル所ナリ、文治三年春、景政居城ヲ小野本郷ニ移ス、今ノ寺院ノ地是ナリ、明暦三年冬改メテ功岳寺ト號ス。

長谷寺ハ、桃生村太田ニ在リ、後鳥羽帝文治五年、源賴朝東征ノ時建ル所、遮那山長谷寺ト號ス。

天雄寺ハ、十五瀨村雄勝ニ在リ、勝法山天雄寺ト號ス、長祿年中後花院帝ノ建ル所ナリ。

此他、中津山村ニ、香積寺、深谷村ニ、東周院等アリ。

道路ハ、縱横數條ニ岐レ、支道亦極メテ多シ、近時迂路ヲ改修シ、險阪ヲ鑿平シテ、舊時ノ觀ヲ更ムルモノ多シ、今縣道ニ屬スルモノヲ舉クレハ、羽後街道、石卷街道、東濱街道、石卷別街道、雄勝街道、及ヒ一ノ關別街道トス。宿驛ハ概テ此等ノ沿道ニアレトモ、大ナルモノ少シ、其百戸以上ニシテ稍著ハル、モノヲ舉クレハ、飯野川、廣淵、小野、矢本、寺崎等ノ諸驛トス。羽後街道ハ、野蒜ヨリ、志田郡松山ニ達スル道路ニシテ即テ野蒜ニ起リ、小野驛ニ至リテ、石卷街道ニ合ス、道程二里餘アリ。

石卷街道ハ、仙臺ヨリ、牡鹿郡石卷ニ達スル道路ニシテ、西宮城郡ニ接スル小野村上下堤ニ起リ、小野、矢本二驛ヲ經テ、深谷村南赤井ニ終ル、道程五里餘アリ。

小野驛ハ、小野村ニ屬シ、戸數百五十餘ニシテ、鳴瀬川ノ北岸ニ沿ヒ、石卷街道ノ要路ニ當レリ、郵便局、村役場、小學校等アリ。

矢本驛ハ、鷹來村ニ屬シ、亦石卷街道ノ要路ニ當レリ、戸數百五十余、村役場、小學校等アリ。

東濱街道ハ、仙臺ヨリ、本吉郡氣仙沼ニ通スル道路ニシテ、石卷街道ノ中央ナル、鷹來村、村松ヨリ東北ニ岐レ、廣淵、和淵、神取、寺崎、ノ四驛ヲ過キテ、桃生村脇谷ニ至リ、本吉郡ニ入ル、道程八里廿町余アリ。

廣淵驛ハ、深谷村ニ屬シ、東濱街道ト石卷別街道トノ要衝ニ當レリ、戸數百八十余、石卷區裁判所出張所、警察分署、郵便局、村役場及ヒ小學校等アリテ、其繁華飯野川ニ次ク。和淵驛ハ、前谷地村ニ屬シ、北上川ノ西岸ニ在リ、戸數一百

余アリ。

神取驛ハ、中津山村ニ屬スル小驛ニシテ、戸數、數十ニ過キス。

寺崎驛モ亦中津山村ニ屬シ、戸數百五十余、郵便局アリ。

石卷別街道ハ、石卷ヨリ遠田郡涌谷ニ達スル道路ニシテ、深谷村牡鹿郡界ニ起リ、廣淵驛ヲ經テ、前谷地村遠田郡界ニ終ル、道程凡六里アリ。

雄勝街道ハ十五濱村雄勝ヨリ石卷ニ達スル道路ニシテ、雄勝驛ヨリ起リ、釜谷、横川、辻堂ノ三驛ヲ經テ、二俣村北境ニ至リ牡鹿郡ニ入ル、道程七里餘アリ、此道路中、釜谷、雄勝ノ間ニ一坂路アリ、雄勝峠ト云フ。

雄勝驛ハ、十五濱村ニ屬シ、雄勝灣ノ沿岸ニ在リテ、戸數七十余、宮城集治監出張所、郵便局、村役場、小學校等アリ、近地

ノ諸山ハ、良質ノ玄昌石ヲ産スルヲ以テ、石盤硯等ノ製造甚タ盛ナリ、殊ニ近時ハ、集治監ニ於テ、石盤瓦ヲ製出ス。

釜谷、横川、及ヒ辻堂ノ三驛ハ、共ニ戸數數十ニ過ギザル小驛ニシテ、釜谷及ヒ横川ハ、大川村ニ屬シ、辻堂ハ二俣村ニ屬セリ。

一ノ關別街道ハ、石卷ヨリ本吉郡柳津驛ニ通スル道路ニシテ、鹿又村牡鹿郡界蕎麥ノ神ニ起リ、鹿又驛及ヒ飯野川驛ヲ經、桃生村檜崎ニ至リテ、本吉郡界ニ終ル、道程四里廿町餘アリ。

鹿又驛ハ、鹿又村ニ屬シ、村ノ東方北上川ノ分流スル處ニ在リテ、戸數一百餘アリ。

飯野川驛ハ、郡ノ中央飯野川村ニ屬シ、郡衙ノ在ル處ニシテ、追波川ノ北岸ニ沿ヒ、郡内要衝ノ地タリ、戸數百九十餘

陸軍憲兵屯所、石巻區裁判所出張所、警察署、郵便局、村役場及ヒ小學校等アリテ、郡内第一繁華ノ地トス。

此他、野蒜村ニ大塚、大川村ニ長面、等ノ宿驛アレトモ、戸數僅カニ數十二過キス。

氣候ハ、地ノ南北、山川河海ノ向背等ニ從ヒ一様ナラザレトモ、寒暖稍其宜キヲ得、今明治廿六年ノ測候ニ據レハ、極寒、華氏寒暖計二十五度三分、極熱八十八度ノ間ニ在レトモ、冬季ハ、概_子三十三度、夏季ハ、大抵八十四五度ヲ昇降ス、降雪ハ甚タ多カラサレトモ、稀ニハ尺ヲ超ユルコトアリ。

降雨亦甚少シ、測候ニ據レハ、総雨量千六百六十三佛厘ニ至ル、風位ハ、秋冬ハ常ニ西北ヨリシ、春夏ハ概テ東南ニアリ、春秋ノ二季或ハ暴風猛雨アルモ、其災害甚ダシキニ至ラス、要スルニ氣候人畜ニ宜ク、又農桑ニ適スル地方ト謂フヘシ。

地味

土質ハ、之ヲ詳ニスルコトヲ得スト雖、地味ハ概テ肥沃ニシテ、殆ント耕種ニ適セサルノ地ナシ、唯大谷地、大川、及ヒ小野ノ地方ニ於テ、稍適セサルノ地アリ、中央以西、殊ニ鹿又、前谷地及ヒ鷹來等ノ地方ハ、最モ肥沃ニシテ穀菜豐生ス。

生業

本郡ハ、田野大ニ闢ケ、耕耘ニ便ナルヲ以テ農業ハ生營ノ大半ヲ占ム、東南兩海濱ハ水産ノ利アルヲ以テ漁業及ヒ製塩ニ従事ス、此他商工及ヒ蠶業等ニ従事スル者多シト雖、概テ兼業ナリ。

物產

農産ハ、米、麥、豆及ヒ野菜等トス、殊ニ相野、谷、葱、檉、崎、芹等名アリ。

水産ハ、海産ハ、鰻、鰺、鯛、鯨、鮪、鰹、鮓、赤魚、鰯、鮭及ヒ貝類、海藻類等トス、又各地ノ淡水ニ産スルモノハ、北上川ノ八段、鮭、鱒、鯉、鯰、ワカサギ等味頗ル美ナルヲ以テ其名著シ、其他廣淵沼ノ

蝦、小池鮒、定川鯀等アリ。

林産ハ馬鞍、皿貝及ヒ女川ノ薪炭等ナリ。

製造物ハ、生糸、蠶繭、等各地ヨリ出ス、此他飯野川ノ製茶、雄勝ノ石盤、硯、和淵及ヒ根古ノ岩細工等ナリ

桃生郡沿革

人皇四十七代、淳仁帝天平寶字二年秋、勅シテ桃生城ヲ造リ、坂東七國ヨリ軍士器仗ヲ送り貯フ、稱徳帝神護景雲三年、淳浪ノ徒一千人ヲ桃生ノ柵戸ニ配スル等ノ事アリ、多クハ罪過アルモノヲ此ニ徙シ、又ハ百姓ノ好ミテ移住スルモノニハ特典アリ、以テ柵戸ノ民族ヲ増サンコトヲ圖レリ、光仁帝寶喜六年十一月、海道ノ夷俘等來リテ桃生城ヲ侵ス、鎮守府將軍大伴駿河麻呂等、朝旨ヲ奉承シ、討テ之ヲ平ク、桓武帝延暦十年、坂上田村麻呂、東征シテ軍ヲ此地ニ次ス、北村ノ新城館趾ハ、其營陣ノ處ナリト云フ、文德帝天安二年、坂上大宿禰高道陸奥介トナリ、清和帝貞觀五年、夷賊ヲ討テテ王事ニ斃ル、其古墳ト稱フルモノ今猶桃生村山田ニ在リ、郷人之ヲ山田ノ碑、又ハ貞觀石ト稱ス、後冷泉帝、永承六年ニ至リテ、安

倍頼時父子之ヲ領ス、天喜ノ役、源義家、厨川次郎貞任ヲ桃生村太田ノ館山城ニ討ツ、柏木原ハ、其古戰場ナリト云フ、康平五年貞任誅ニ伏ス、後鎮守府ノ所轄トナル、後又鎌倉權五郎景政之ヲ領ス、後鳥羽帝文治五年、源頼朝奥州ヲ平定シ、深谷ノ莊ヲ景政ノ曾孫、長江太郎義景ニ賜ヒ、他ヲ葛西清重ニ與フ、其後正親町帝天正十八年、豐臣秀吉東征シテ葛西氏ヲ亡ス、是ヨリ伊達政宗ノ所領トナリ、累代之ヲ襲フ、後王政維新ニ際シ、明治元年十二月、高崎藩ノ取締地トナリ、二年七月、桃生縣ヲ置キ、又石卷縣ト改ム、三年九月、登米縣ニ屬シ、四年十一月、仙臺縣ノ所轄トナリ、五年一月ニ至リテ宮城縣管轄トナレリ。

桃生郡地誌附錄

目次

- 一 河村孫兵衛ノ傳
- 一 黒澤敬德碑
- 一 奈和良元直ノ傳
- 一 大槻翁碑
- 一 武田貞信ノ傳
- 一 孝婦仲ノ傳
- 一 細田山碑
- 一 近藤留左衛門ノ傳
- 一 戸口各村別調査表
- 一 本籍人族別調査表
- 一 商工及漁業者數

- 一 諸物産額調
- 一 公學費
- 一 小學校教員數
- 一 小學校分教場村役場及郵便局所在地
- 一 各村別學齡及就學兒童數
- 一 各村別土地反別及地價額調
- 一 各村別大字

桃生郡地誌附錄

河村孫兵衛ノ傳

河村孫兵衛名ハ重吉長州阿武ノ人ナリ政宗卿ニ仕テ郡司トナル性剛正果敢ニシテ奇才アリ能ク水理ニ通シ沮洳ヲ疏排シテ良田ヲ開キ河身ヲ決開シテ漕路ヲ通シ堤防ヲ築造シテ河水ノ汎濫ヲ防キ溝渠ヲ開鑿シテ田畝ノ灌溉ヲ便スルカ如キ治水ノ策ヲ講シテ之ヲ實地ニ應用スルニ皆其ノ正鵠ヲ失ハズ時人以テ神オトナス而シテ北上川ヲ決リテ石ノ卷ニ注キ奥郡ノ漕路ヲ開クノ一事ハ實ニ孫兵衛一生ノ偉業ニシテ今ニ至リテ噴々其ノ功ヲ稱シテ衰ヘズ初メ北上川ノ流脈柳津ヨリ飯野川ヲ經テ追波ノ瀆ニ注キシガ水流急激ニシテ岸崖ヲ齧ムト甚シク又舟ヲ行ルニ便ナラズ孫兵衛以爲ク河身ヲ變更シテ水流ヲ迂回セシムルハ

水勢自ラ殺テ行舟安全ナラント即チ柳津ヨリ寺崎ノ西ヲ
繞リテ北上川ヲ決リ追荒雄ノ二川ヲ合セ和淵ヲ經テ鹿股
ニ至リ二派トナシ一ヲ追波ニ注キ一ヲ石ノ卷ニ注ク是レ
ヨリ漕運大ニ開ケ石ノ卷ヲシテ封内ノ一良港タラシム舟
人棹子永ク其ノ惠ニ賴リ百貨輻輳シテ民口増殖スルモノ
ハ孫兵衛決鑿ノ力ナリ政宗卿賞シテ其ノ祿ヲ加賜シ委ス
ルニ水土ノ政ヲ以テシ大ニ其功ヲ錄ス嗣子元吉亦孫兵衛
ト稱シ父ノ遺志ヲ繼キ深ク心ヲ民政ニ注キ良績ノ多キ父
ニ讓ラズ其ノ海岸ニ松林ヲ作り海瘴ヲ防キ禾穀ヲ豐熟ナ
ラシムルカ如キハ最モ功績ノ大ナルモノナリ

內務一等屬黑澤敬德碑

明治十六年二月八日內務一等屬黑澤君沒矣僚友追思其勞
績建碑野蒜公園地請文于余乃據狀而銘之君本姓清水氏諱

敬德幼名幸太郎後改吉太郎其先遠江人世居武之江戸祖父
曰又次郎父曰瀨兵衛皆仕幕府爲都料匠瀨兵衛生三子君其
嫡長父沒襲職慶應元年五月幕府西征君以都料匠從在大坂
兼陸軍築造部椽屬尋轉工兵嚮導官明治戊辰之變還致職祿
去而隱于商更稱黑澤屋吉之助遂以黑澤氏焉旣而官聞君長
于工事二年八月舉爲土木大令史三年晉權少佐五年遷土木
權中屬歲餘晉中屬十年又轉內務六等屬明年官有野蒜海港
之議命君董工事野蒜在陸前桃生郡北上川繞其北鳴瀨川自
西來與石卷相接東面太平洋地勢灣環自成港澳君乃承石井土
木局長旨據蘭國工師璫杜崙之說鑿運河以釃北上川設開門
以節畜泄築石堤以捍潮衡其役至大其業至難觀者皆莫不駭
且危焉而君勵精盡瘁卒先工徒山于伐海于運指揮得宜而應
用之材不乏若其運河開門業已奏功而石堤亦告竣于十五年

十月於是內務卿山田公顯義臨而落之嗚呼人之所駭且危而克成之雖則依璫杜崙氏之計畫與服事者之竭力抑亦君董督之功居多焉後數日君護疾歸于東京遂不起享年四十有五葬駒込連光寺配須賀氏一男三女男敬三嗣長女適某氏餘尙幼在家君爲人質直其自釋褐從事土木者十有四年夙夜勉勵果進以至今官及沒官追其功賜以金五百圓蓋特典云君之在病褥也僚友故舊訪之每以野蒜工事爲言而絕無及私可以見精誠奉上之志矣銘曰

以搖以櫓 于山于澤 勉焉而塞 督工之責

疊石爲堤 波濤所激 隨潰隨築 克底功績

厥績厥功 疇云不碩 天弗假年 人舉悼惜

野蒜之澳 六尺之碑 託名不朽 勒以此辭

內務卿兼參議議定官陸軍中將正四位勳一等山田顯義篆額

宮城縣大書記官從六位和達孚嘉撰 晴嶽佐久間雅方書

奈和良元直ノ傳

奈和良元直幼名ヲ孫太夫ト稱ス其先ヲ伊藤信茂ト曰ヒ長州萩ノ人ナリ慶長ノ初メ其ノ兄某及ヒ關某ト共ニ藩祖政宗公ノ威名ヲ慕ヒ遠ク仙臺ニ來リテ各功業ヲ奏シ以テ其旗下ニ就カント欲シ兄某先ツ桃生郡宮戸濱ノ推山ト云ヘル處ニ唐船番所ヲ築キ以テ海防ヲ嚴ニセリ信茂及關某等二人力ヲ協セ塩田ヲ開墾セリ宮城郡ノ磯崎牡鹿郡ノ渡波亘理郡ノ鳥屋崎是レナリ信茂祐直ヲ生ミ祐直信定ヲ生ミ信定直包ヲ生ミ直包信益ヲ生ミ信益崇包ヲ生ム元直ハ即テ其子ナリ世々宮城郡高城村ニ居レリ元直幼ニシテ沈毅大度アリ長スルニ及ヒ常ニ父祖ノ志ヲ繼キ大ニ殖産ノ事業ヲ興サントスルノ意アリ安永七年遂ニ官ニ請ヒテ東名

瀆ニ鹽田ヲ開墾スルヲ凡ソ三十餘町步以テ縣下ニ一大富
源ヲ開ケリ東名瀆ノ今日アルハ實ニ君ノ餘惠ナリ天明二
年十月二十四日歿セリ享和壬戌ノ冬十月廿四日子元平東
名鹽塲碑ヲ建テ以テ君ノ功績ヲ旌セリ又君ノ偶像ヲ刻シ
テ東名妙月庵ニ安置セリ

大槻翁碑

長津浦之北砂曠潮淺不適耕漁蘆葦叢生遺棄既久今則開鹽
田七區歲概出二萬苞闔村給足實大槻翁之力也翁諱義秀大
槻氏稱平六左衛門刈田郡越河村人世仕白石片倉氏白石管
內乏食鹽翁來寓長津浦也欲相地勢闢鹽塲建言得允文政十
三年起工天保三年成以事屬新創人心不悅謗議喧然塲亦爲
風濤壞者數資產殆盡而翁不爲屈撓遂闢塲四區既成納諸片
倉氏片倉氏大悅命承重臣田制某後蓋嘉其功也翁既成其志

讓家長子某再來居長津浦自號開塲鹽取居士詠歌闢碁悠然
自得慶應元年十月廿六日以疾歿享年七十有五葬於村南龍
谷寺翁爲人長身清癯望之嚴然而接人溫々不見圭角所以善
得衆心翁去數年數年片倉氏納鹽塲於仙臺藩々置吏監之其
利與白石平分更增三區及藩廢全歸里民而其業愈盛頃者里
民相謀欲頌翁功德來請余銘余與翁有父祖三世之交誼以不
文不可辭因爲之銘々曰

鹽田哇々 維翁所設 骨可朽矣 功不可滅

長面之瀆 山高水清

明治廿一年九月

宮城縣知事從四位勳三等松平正直篆額

永沼 庄太郎謹撰

羽生 玄 榮拜書

武田貞信ノ傳

武田貞信仙臺藩主伊達忠宗公ヨリ和淵ノ地ヲ拜領シテ荒蕪ノ地大凡壹百町歩ヲ開墾シ承和二年ニ至リ六十一町二反五畝歩ノ新田ヲ得タリ初メ貞信左馬之助ト稱シ又五郎左衛門ト云フ後因幡ト改ム年十三ニシテ忠宗公ノ小性トナリ後出入司ヲ勤ム資性忠直奉仕四十九年天和元年九月十六日卒ス年七十八貞信此地ニ住セシヨリ現時ノ仲ニ至ル十三代ナリト云フ

孝婦なるノ碑

東奥桃生郡寺崎邑有一孝婦稱仲年甫十七延享三年三月廿八日邑民彌四郎醉酗創於其父新藏孝婦接白刃間而奪彌四郎以救危難是歲重陽日官褒表之賜金若干惜乎天不假年僅廿四歲寶曆三年六月十七日沒葬于砂山先塋之側中津山主

日東和尚題墓曰曹月妙媛爰因其子若山知滿所請記其行實且使後人發秉彝之良心云銘曰

見危致命 古哲之訓 克蹈白刃 孝烈維聞

儒學 田邊希元誌

細田山碑

史稱豐太閤秀吉既定東北賜大崎葛西二氏故地於木村吉清吉清素寒微遽得大封故募浮浪無賴爲臣屬侮視管內士民橫暴凶狀士民苦之相吉作乱吉清不能制太閤怒奪其封賜於我舊仙臺藩祖命夷其亂藩祖出師連戰皆克焉深谷之役我疊祖從軍斬亂魁西郡新右於細田新右者葛西氏之舊將也疊祖亦被創而沒從臣收屍就其地葬焉實天正十九年也謹按家牒疊祖諱重景通稱上野木村氏系出自大織冠藤原鎌足裔田原秀郷十世孫信綱始稱木村氏十有六傳而疊祖先是數世依於長

江氏于深谷小野城至是屬藩祖此役終致命後藩祖召其子諱
景興祿之子孫蟬聯至大人今茲大人謂敏曰我家所以受伊達
氏三百年煦濡之恩且今吾與汝不飢不凍優游以生死者實疊
祖致命之賜也而境塹不治及今不爲之所則恐樵牧之或及將
建碑表之汝其撰文以襄我志敏拜曰唯謹記疊祖致命之首尾
併及世系之梗概如此

明治十八年八月

十世孫木村景直建

十一世孫 敏撰文

佐々木舜永篆並書

近藤留左衛門之略傳

近藤留左衛門ハ桃生郡鹿又村ノ人ナリ幼ヨリ勤險ニシテ
且慈惠ノ志深ク年漸ク長スルニ及ビ常ニ公益ヲ圖ルヲ以

テ務メトナス享和七年七月北上川堤防決壊シテ洪水全村
ニ汎濫シ其水延キテ牡鹿郡蛇田石卷二村ニ及ブ之レカ爲
メ其損害ニ罹ルモノ鹿又村ニ於テ米壹萬斛餘鹽五百俵石
卷米廩ニ於テ米五百石餘ナリト謂フ是ノ時ニ當リ村民大
ニ飢餓ニ迫リ日々隣村廣淵沼ニ往キ或ハ菱ヲ採リ或ハ蓮
根ヲ堀リ以テ之ヲ食ヒ僅カニ其餓ヲ凌ク者多シ故ニ一人
ノ破堤修築ノ役ニ從フ者ナキニ因リ決壊日ニ加ハリ洪水
時ニ滔レリ留左衛門此慘狀ヲ見テ大ニ歎キ乃チ官ニ請ヒ
私資ヲ擲テ村内ノ餓人ヲ役シテ其堤防ヲ修築スル凡百
三十間其費用概チ金千百切人夫三萬其他竹木蘆葦等ノ雜
品勝ケテ計フル可ラズ其堤防極メテ堅牢ニシテ今ニ至リ
テ破壊ノ虞ナキニヨリ村民皆其恩惠ニ感セザル者ナシト
云フ留左衛門夙ニ邊防ノ一日モ忽諸ニ附ス可ラサルヲ悟

リ曾テ大砲三門ヲ鑄テ之ヲ藩公ニ獻ス公依リテ試ミニ之ヲ射撃セシメシニ皆洞貫セリト云フ君之ヲ聞キ復タ更ニ三門ヲ鑄テ再ビ之ヲ獻ス藩公其志ヲ嘉稱シ君ヲ拔ンシヲ士籍ニ加ヘタリト云フ留左衛門ノ長男留兵衛其子門彌曾孫留左衛門其子仲則皆能ク父祖ノ遺志ヲ繼ギ慈仁ノ行多カリシト云フ仲則現ニ鹿又村ニ住シ今尙ホ年壯ナリ明治廿六年十二月下浣之ヲ記ス

桃生郡戸口各村別調査表

明治廿五年十二月現在

村名	種別	本籍		現住		本籍		現住	
		總數	男	女	總數	男	女	總數	男
宮	戸	一〇四五	五二〇	五二五	一〇六八	五三二	五三六	一五二	一五四
野	蒜	二七八四	一四一六	一三六八	二八四一	一四三七	一四〇四	三七五	四二二
小	野	三八五八	一九七八	一八八〇	三八一七	一九四二	一八七五	五〇二	五〇三
鹿	來	五二五二	二七〇一	二五五一	五三二九	二七三七	二五九二	六三六	六五〇
深	谷	九五三七	四八九九	四六三八	九六三一	四九三二	四六九九	一二五二	一三七〇
鹿	又	三三九〇	一六九四	一六九六	三三四〇	一六六〇	一六八〇	四七〇	四八五
前	谷	三六一二	一八〇八	一八〇四	三六三八	一八五八	一七〇八	五二八	五三七
中	津	四九五二	二五四九	二四〇四	四九二九	二五四九	二三八〇	七〇九	六九六
桃	生	三六一二	一八七四	一七三八	三五八五	一八五八	一七二七	四七三	四七九
大	谷	二九三一	一五一九	一四二二	二九四一	一五二二	一四二九	四〇四	四一五
飯	野	四四二一	二二九〇	二一三一	四四九三	二三四一	二一五二	六四〇	六六一
橋	浦	二〇〇八	一〇四四	九六四	一九八四	一〇二三	九六一	二九六	二九七
二	俣	二七八九	一四四〇	一三四九	二七七二	一四二八	一三四四	三四一	三四四
大	川	三二二八	一六五一	一四七七	三二六三	一六七七	一四八六	四五一	四三五

十五	濱	四三四三	二二九九	二〇四四	四四七九	二三九五	二〇八四	五七六	六五八
計		五七六六三	二、九六八三	二、七九八〇	五、八〇一〇	二、九八八二	二、八一三九	七、八〇五	八、一〇六

桃生郡本籍人別調查表

族別	男	女	戶主	家	男	女	族	合	男	女	計
士族	一三七	四	三三一	四二七	四五八	四三一	八八九				
平民	七五三五	一二四	二、一六八九	二、七四二五	二、九二二四	二、七五四九	五、六七七三				
計	七六七二	一二八	二、二〇一〇	二、七八五一	二、九六八二	二、七九八〇	五、七六六二				
備考	戶主未定五戶										

商工漁業者數

商 一八二八
工 八一〇
漁 二五六九
內專業 四七四
兼業 二〇九五
全廿五年十二月卅壹一日調

諸物產額調

大麥 一、二三六二石
小麥 一六〇五
稗麥 一二四
明治廿六年調

大豆 一、〇〇六三石
小豆 一二〇三
上 九三二石
玉 三三〇
其他 六七四貫
生 一九六
系 二二七
茶 五五七貫
製 四九四二、一四步
田 三 五
釜 一、六四五〇石
產 額
石 六四、九八二三枚
硯 二八三二
其他 一〇〇〇
明治廿五年調
明治廿六年調
右同年調
明治廿五年調
明治廿六年調
右同年調
明治廿六年調
金 一、七〇六六、二三〇
明治廿六年調

本郡公學費

本郡小學校教員數

正教員	男		女	計
	男	女		
正教員	七五	二	七	七七
准教員	五一	三	五四	
合計	一二六	五	一三一	

小學校分教場村役場及郵便局所在地

村名	小學校名	所在地	分教場所在地	村役場所在地	郵便局所在地
宮戸村	宮戸尋常小學校	月濱	東名	里濱	
野蒜村	野蒜尋常小學校	野蒜	大濱市	野蒜	野蒜
小野村	小野尋常小學校	小野驛	川濱市	小野驛	小野驛
鷹來村	鷹來尋常小學校	矢本驛	大妻曲	矢本驛	
深谷村	深谷尋常小學校	廣淵驛	北村	廣淵驛	廣淵驛
全	赤井尋常小學校	北赤井	南赤井		
全	須江尋常小學校	裏須江			
鹿又村	鹿又尋常小學校	梅ノ木		新鹿又	
前谷地村	前谷地尋常小學校	前谷地		前谷地	

本郡學齡及就學兒童數

村名	學齡兒童數	就學兒童數	分教場數
宮戸村	宮戸尋常 一七四	男 一〇一 女 七三 總數 一三七	男 九三 女 四四
全	和淵尋常小學校	和淵驛	
中津山村	神取尋常小學校	神取	新田寺崎驛
全	新田高等小學校	新田	
全	中津山尋常小學校	中津山	
桃生村	永井尋常小學校	永井	檜崎
全	太田尋常小學校	太田	檜崎
大谷地村	大谷地尋常小學校	小船越	小船越
飯野川村	飯野川高等小學校	飯野川	飯野川驛
二俣村	二俣尋常小學校	辻堂地	辻堂驛
橋浦村	橋浦尋常小學校	橋浦	長尾
大川村	福地尋常小學校	針岡	釜谷
全	長面尋常小學校	釜谷	釜谷
十五濱村	十五濱尋常小學校	雄勝驛	雄勝驛

飯野川村	大谷地村	桃生村		中津山村		全	前谷地村	鹿又村	深谷村	鷹來村	小野村	野蒜村
飯野川 高尋常	大谷地全	太田全	永井全	中津山全	新田全	神取全	和淵全	鹿又 高尋常	須江全	鷹來 高尋常	小野全	野蒜全
七九八	五五四	三〇五	一九〇	二五三	一六五	一九〇	二六五	四二九	三四九	一〇五七	七二七	三二四
四三九	三一六	一七二	一〇八	一一二	七六	七五	一四九	二四八	一七〇	五六六	三八四	一七七
三五九	二三八	一三三	八二	一四一	八九	一一五	一一六	一八一	一七九	四九一	三三三	一四七
四五六	三五〇	二七〇	一七一	一六六	一一二	一三〇	一六九	三七三	一四四	七六八	四〇四	二四二
三二九	二六五	一六五	一〇七	一〇六	八二	七五	一二五	二四五	八三	六八七	二九六	一六六
一二九	八五	一〇五	六四	六〇	三九	五五	四四	一二八	六一	八一	一〇七	七六
三	二	一						一		二	三	二

土地反別及地價各村別調查表

二俣村	二俣尋常	五七九	二八二	二九七	二一〇	一七二	三八	二
橋浦村	橋浦全	三五六	一九二	一六四	二四五	一八八	五七	一
大川村	福地全	三四四	一九〇	一五四	二二三	一八三	三〇	一
	長面全	一九四	九五	九九	一一四	八六	二八	一
十五濱村	十五濱全	九一四	五〇二	四一二	三六五	二四三	一二二	六
合計	二十二校	九八九四	五二七〇	四六二四	五八五六	四一三三	一七二三	二九
土地反別及地價各村別調査表								
	田	畑	宅地	山林	原野	池沼	鹽田	合計
宮戸村	反別 五四、〇八〇五 一、三六四、一七〇	三九、五七三 三五四、九一八	五、九三三 七三、四六七	二〇、九八〇六 一〇三、四六七	七、三〇二 三〇、六六〇			三七、八〇七 一、八〇四、九〇九
野蒜村	反別 四、五三三、四三二 一、五、六五一〇	六四、五、五四〇 七二、七五二	四〇、五、九九九 二七、〇一五	二六、三、八三三 二七、五四二七	一〇、一八〇五 三〇、九八八		三八、七〇八 九三三、三〇九	六九、八七〇七 六、七八一六、〇九〇
小野村	反別 四、五、七二四 九、〇八四三、六九五	一四、五〇三八 一、二四二、九六五	三七、七二三 五四四、八七五	七五、六、〇三八 五八八、七七五	二四、三、二〇三 五八三、四八四			一二五、三九〇四 一一、四〇五、七三三
鷹來村	反別 八七五、六〇〇 一八、〇五六七、七四三	一五〇、四六三三 一、二五四三、三五九	六三、五七一六 八八、九、〇九六	一六〇、八五一六 三五八、八、五二五	二五、六四〇三 三八六、一八五			一二七、六一四六 二〇五、九四八、八〇七

[illegible]

橋浦村		大川村		十五濱村		合計	
反別	地價	反別	地價	反別	地價	反別	地價
二九、三〇二	四、三五八〇、二〇	三、一〇二	四、四四三、六五	一六、二六六、二五九	一八、二六六、二五九	一六、二六六、二五九	一八、二六六、二五九
六、三〇八	五五四一、〇〇八	九四、七六〇八	五五四一、〇〇八	一九、三三二、七六九	一九、三三二、七六九	一九、三三二、七六九	一九、三三二、七六九
一八、四六二八	二七三二、五五〇	七三七、〇八八	八四、七〇三	七六五、九三三	七六五、九三三	七六五、九三三	七六五、九三三
四三八〇〇八	二四、四七三四	一八六、一九二	六四、七二四	一八六、一九二	一八六、一九二	一八六、一九二	一八六、一九二
四五一九九四	三五四、二九	一九九、四八〇	六四四、七二四	六四、五一八	六四、五一八	六四、五一八	六四、五一八
	九一、九九〇	六六七、三三三	二〇八、五八二九	六三、五七、三五八	六三、五七、三五八	六三、五七、三五八	六三、五七、三五八
		二五、〇〇七	五七、六〇	六八、〇九四	六八、〇九四	六八、〇九四	六八、〇九四
		〇三、三五〇四		二五、五三八	二五、五三八	二五、五三八	二五、五三八
				五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三	五三、四八三
				一、七〇四九、一〇四	一、七〇四九、一〇四	一、七〇四九、一〇四	一、七〇四九、一〇四
				九〇、八六七	九〇、八六七	九〇、八六七	九〇、八六七
				三九八、三三二	三九八、三三二	三九八、三三二	三九八、三三二
				二〇四、六四七三、五五九	二〇四、六四七三、五五九	二〇四、六四七三、五五九	二〇四、六四七三、五五九

前谷地村	前谷地 和淵
中津山村	中津山 寺崎
桃生村	脇谷 倉坪 牛田 永井 櫻崎 太田
大谷地村	小船越 飯野
飯野川村	相ノ谷 成田 中島 中野 皿貝 馬鞍
二俣村	北境 東福田 大森 三輪田
橋浦村	橋浦 長尾 女川
大川村	釜谷濱 福地 針岡 長面濱 尾ノ崎濱
十五濱村	名振濱 船越濱 大須濱 熊澤濱 桑濱 立濱 大濱 小島濱 水濱 雄勝濱 分濱

明治廿七年八月一日印刷
 同年八月十五日出版

(非賣品)

桃生郡教育會編纂

發行
 印刷者兼

宮城縣士族

鈴木安利

宮城縣桃生郡深谷村
 北村百五拾四番地甲

印刷所

菅井活版所

同縣仙臺市
 名掛町二拾一番地

